

別紙 1

障害者（児）居宅介護従業者養成研修カリキュラム

1	1級課程	合計	230時間
	(1) 講義	計	84時間
	ア 社会福祉関連の制度とサービス	小計	20時間
	(ア) 障害者（児）福祉の制度とサービス		4時間
	(イ) 高齢者福祉の制度とサービス		4時間
	(ウ) 高齢者保健・医療の制度とサービス		3時間
	(エ) 社会保障制度		3時間
	(オ) 障害者（児）福祉の動向		3時間
	(カ) 高齢者保健福祉の動向		3時間
	イ 介護の方法と技術	小計	28時間
	(ア) 介護技術の展開		4時間
	(イ) 障害を持つ児童の介護の実際		4時間
	(ウ) 身体障害者の介護の実際		4時間
	(エ) 知的障害者の介護の実際		4時間
	(オ) 精神に障害を持つ人々への介護の実際		3時間
	(カ) 痴呆性高齢者の介護の実際		3時間
	(キ) 困難事例検討		4時間
	(ク) 在宅ターミナルケアの実際		2時間
	ウ チームケアとチームワーク	小計	20時間
	(ア) ケアマネジメントの方法		4時間
	(イ) ホームヘルプサービスチーム運営方式の実際		4時間
	(ウ) チームケアの実際		4時間
	(エ) 指導業務の必要性と方法		4時間
	(オ) カンファレンスの持ち方と事例検討の方法		4時間
	エ 関連領域の基礎知識	小計	16時間
	(ア) 医学の基礎知識Ⅱ		8時間
	(イ) 在宅看護の基礎知識Ⅱ		4時間
	(ウ) 心理学的援助方法の基礎知識		4時間
	(2) 演習	計	62時間
	ア ケアマネジメント技術		6時間
	イ 指導技術と介護技術の向上		30時間
	ウ 困難事例等対応技術		20時間
	エ 福祉用具の使用技術		6時間

(3) 実習	計	84時間
ア 援助困難事例対応実習	24時間	
イ デイサービスセンター実習	12時間	
ウ チーム運営方式業務実習	16時間	
エ 訪問看護同行訪問	8時間	
オ 相談支援事業に係る職員との同行訪問	4時間	
カ 在宅介護支援センター職員との同行訪問	4時間	
キ 公的関係機関見学	8時間	
ク 事例報告の検討	8時間	
2 2級課程	合計	130時間
(1) 講義	計	58時間
ア 福祉サービスの基本視点	小計	6時間
(ア) 福祉理念とケアサービスの意義	3時間	
(イ) サービス提供の基本視点	3時間	
イ 社会福祉の制度とサービス	小計	6時間
(ア) 障害者(児)福祉の制度とサービス	3時間	
(イ) 高齢者保健福祉の制度とサービス	3時間	
ウ ホームヘルプサービスに関する知識	小計	5時間
(ア) ホームヘルプサービス概論	3時間	
(イ) ホームヘルパーの職業倫理	2時間	
エ サービス利用者の理解	小計	14時間
(ア) 障害・疾病の理解	8時間	
(イ) 障害者(児)、高齢者の心理	3時間	
(ウ) 障害者(児)、高齢者等の家族の理解	3時間	
オ 介護に関する知識と方法	小計	11時間
(ア) 介護概論	3時間	
(イ) 介護事例検討	4時間	
(ウ) 住宅・福祉用具に関する知識	4時間	
カ 家事援助に関する知識と方法	小計	4時間
家事援助の方法	4時間	
キ 相談援助とケア計画の方法	小計	4時間

相談援助とケア計画の方法	4時間		
ク 関連領域の基礎知識		小計	8時間
(ア) 医学の基礎知識 I	3時間		
(イ) 在宅看護の基礎知識 I	3時間		
(ウ) リハビリテーション医療の基礎知識	2時間		
(2) 演習		計	42時間
ア 共感的理解と基本的態度の形成	4時間		
イ 基本介護技術	30時間		
ウ ケア計画の作成と記録・報告の技術	5時間		
エ レクリエーション体験学習	3時間		
(3) 実習		計	30時間
ア 介護実習	16時間		
イ ホームヘルプサービス同行訪問	8時間		
ウ 在宅サービス提供現場見学	6時間		
3 3級課程		合計	50時間
(1) 講義		計	25時間
ア 社会福祉に関する知識		小計	7時間
(ア) サービス提供の基本視点	3時間		
(イ) 障害者(児)福祉の制度とサービス	2時間		
(ウ) 高齢者保健福祉の制度とサービス	2時間		
イ ホームヘルプサービスに関する知識と方法		小計	13時間
(ア) ホームヘルプサービス概論	3時間		
(イ) サービス利用者の理解	3時間		
(ウ) 介護概論	3時間		
(エ) 家事援助の方法	4時間		
ウ 関連領域の基礎知識		小計	5時間
(ア) 医学の基礎知識	3時間		
(イ) 心理面への援助方法	2時間		
(2) 演習		計	17時間
ア 共感的理解と基本的態度の形成	4時間		
イ 介護技術入門	10時間		
ウ ホームヘルプサービスの共通理解	3時間		

(3) 実習	計	8時間
ア 在宅サービス提供現場見学		8時間
(ア) デイサービスセンター見学		5時間
(イ) ホームヘルプサービス同行訪問見学		3時間
4 継続養成課程	合計	24時間
(1) チーム運営方式主任ヘルパー業務関連プログラム	計	24時間
ア 1級課程の科目のうち次のもの	小計	22時間
(ア) 講義		
ホームヘルプサービスチーム運営方式の実際		4時間
チームケアの実際		4時間
指導業務の必要性と方法		4時間
カンファレンスの持ち方と事例検討の方法		4時間
(イ) 演習		
ケアマネジメント技術		6時間
イ 小グループによる討論	小計	2時間
(2) 最新の知識プログラム	計	22時間
ア 1級課程の科目のうち次のもの	小計	20時間
(ア) 講義		
障害者(児)福祉の動向		3時間
高齢者保健福祉の動向		3時間
介護技術の展開		4時間
心理学的援助方法の基礎知識		4時間
(イ) 演習		
ケアマネジメント技術		6時間
イ 小グループによる討論	小計	2時間
(3) 指導技術と介護技術プログラム	計	32時間
ア 1級課程の科目うちの演習	小計	30時間
指導技術と介護技術の向上		30時間
イ 小グループによる討論	小計	2時間
(4) 困難事例対応技術プログラム	計	26時間
ア 1級課程の科目うちの演習	小計	24時間
援助困難事例対応実習		24時間
イ 小グループによる討論	小計	2時間

5	視覚障害者移動介護従業者養成研修課程	合計	20時間
(1)	講義	計	11時間
	ア 障害者福祉に関する制度及びサービス	小計	3時間
	(ア) ガイドヘルパーの制度と業務		1時間
	(イ) 障害者(児)福祉の制度とサービス		2時間
	イ 身体障害者ホームヘルプサービスに関する知識	小計	3時間
	(ア) ホームヘルプサービス概論		2時間
	(イ) ホームヘルパーの職業倫理		1時間
	ウ サービス利用者の理解	小計	3時間
	(ア) 視覚障害者の疾病・障害の理解		2時間
	(イ) 障害者(児)の心理		1時間
	エ 移動介護の基礎知識	小計	2時間
(2)	演習	計	9時間
	移動の介護に係る技術		
	ア 移動介護の基本技術	小計	2時間
	イ 屋内の移動介護	小計	2時間
	ウ 屋外の移動介護	小計	4時間
	エ 応用技能	小計	1時間

※ 演習は、適当な実習指導者の指導の下に行われる、別に定める施設における介護実習又は居宅介護に関する実習に代えることができる。

6	全身性障害者移動介護従業者養成研修課程	合計	16時間
(1)	講義	計	12時間
	ア 障害者福祉に関する制度及びサービス	小計	3時間
	(ア) ガイドヘルパーの制度と業務		1時間
	(イ) 障害者(児)福祉の制度とサービス		2時間
	イ 身体障害者ホームヘルプサービスに関する知識	小計	3時間
	(ア) ホームヘルプサービス概論		2時間
	(イ) ホームヘルパーの職業倫理		1時間
	ウ サービス利用者の理解	小計	3時間
	(ア) 全身性障害者の疾病・障害の理解		2時間
	(イ) 障害者(児)の心理		1時間
	エ 移動介護の基礎知識	小計	3時間
(2)	演習	計	4時間
	車椅子での移動の介護に係る技術		
	ア 基礎的な介護技術	小計	3時間
	イ 移動介護の方法	小計	1時間

※ 演習は、適当な実習指導者の指導の下に行われる、別に定める施設における介護実習又は居

宅介護に関する実習に代えることができる。

7 知的障害者移動介護従業者養成研修課程	合計	19時間
(1) 講義	計	13時間
ア 障害者福祉に関する制度及びサービス	小計	3時間
(ア) ガイドヘルパーの制度と業務	1時間	
(イ) 障害者(児)福祉の制度とサービス	2時間	
イ 知的障害者ホームヘルプサービスに関する知識	小計	3時間
(ア) ホームヘルプサービス概論	2時間	
(イ) ホームヘルパーの職業倫理	1時間	
ウ サービス利用者の理解	小計	5時間
(ア) 知的障害者の疾病・障害の理解	4時間	
(イ) 障害者(児)の心理	1時間	
エ 移動介護の基礎知識	小計	2時間
(2) 演習	計	6時間
移動の介護に係る技術	6時間	

※ 演習は、適当な実習指導者の指導の下に行われる、別に定める施設における介護実習又は居宅介護に関する実習に代えることができる。

8 日常生活支援従業者養成研修課程	合計	20時間
(1) 講義	計	9時間
ア 身体障害者ホームヘルプサービスに関する知識	小計	3時間
(ア) ホームヘルプサービス概論	2時間	
(イ) ホームヘルパーの職業倫理	1時間	
イ 介護に関する知識と方法	小計	5時間
(ア) 全身性障害者の疾病・障害の理解	2時間	
(イ) 基礎的な介護技術	2時間	
(ウ) 家事援助の方法	1時間	
ウ 関連領域の基礎知識	小計	1時間
医学等の関連する領域の基礎的な知識	1時間	
(2) 演習	計	11時間
ア 基礎的な介護技術	8時間	
イ 移動介護の方法	3時間	

※ 演習は、適当な実習指導者の指導の下に行われる、別に定める施設における介護実習又は居宅介護に関する実習に代えることができる。